



Japan Display Inc.

2025年度 第2四半期（中間期） 決算説明資料

2025年11月13日

株式会社 ジャパンディスプレイ



PersonalTech For A Better World

- 希望退職者は募集人数に到達、茂原工場の生産終了は11月に前倒し、全社組織の再編も完了し、固定費削減と構造改革が進展
- AutoTech子会社化は2026年4月1日に延期も、社内カンパニーとし、意思決定の迅速化を実現
- 知財子会社株式の譲渡及び運転資金の圧縮により、資金を確保
- 今後の茂原工場資産の譲渡に伴う利益計上により、財務健全性の回復を見込む
- FY26の黒字化を確実に達成し、持続的な成長基盤を構築



Japan Display Inc.

2025年度第2四半期（中間期） 業績報告

	FY24 1H	FY25 1H	YoY
(億円)			
売上高	1,029	664	-365
民生・産業機器	383	135	-248
車載	646	529	-117
EBITDA	△134	△124	+11
営業利益	△155	△144	+10
営業外収益	11	7	-3
営業外費用	△29	△54	-25
経常利益	△173	△191	-18
特別利益	18	215	+197
特別損失	△8	△132	-125
税引前中間純利益	△163	△108	+55
中間純利益	△168	△114	+55
(ご参考)			
平均為替レート (円/米ドル)	152.8	146.0	

■ 売上高

茂原工場での生産縮小及び鳥取工場での生産終了等により減収

■ EBITDA/営業利益

売上減少分を、鳥取工場の生産終了に伴う工場経費削減や研究開発費の見直し、人件費削減等のコスト削減で相殺

■ 中間純利益

関係会社株式売却益（特別利益185億円）、事業構造改善費用（特別損失127億円）を計上

	FY24 2Q	FY25 2Q	YoY
(億円)			
売上高	470	340	-130
民生・産業機器	161	72	-88
車載	309	268	-42
EBITDA	△74	△43	+32
営業利益	△84	△53	+32
営業外収益	6	7	+0
営業外費用	△17	△25	-8
経常利益	△95	△71	+24
特別利益	1	215	+214
特別損失	△7	△52	-46
税引前四半期純利益	△101	92	+192
四半期純利益	△103	89	+192
(ご参考)			
平均為替レート (円/米ドル)	149.7	147.5	

■ 売上高

茂原工場での生産縮小及び鳥取工場での生産終了等により減収

■ EBITDA/営業利益

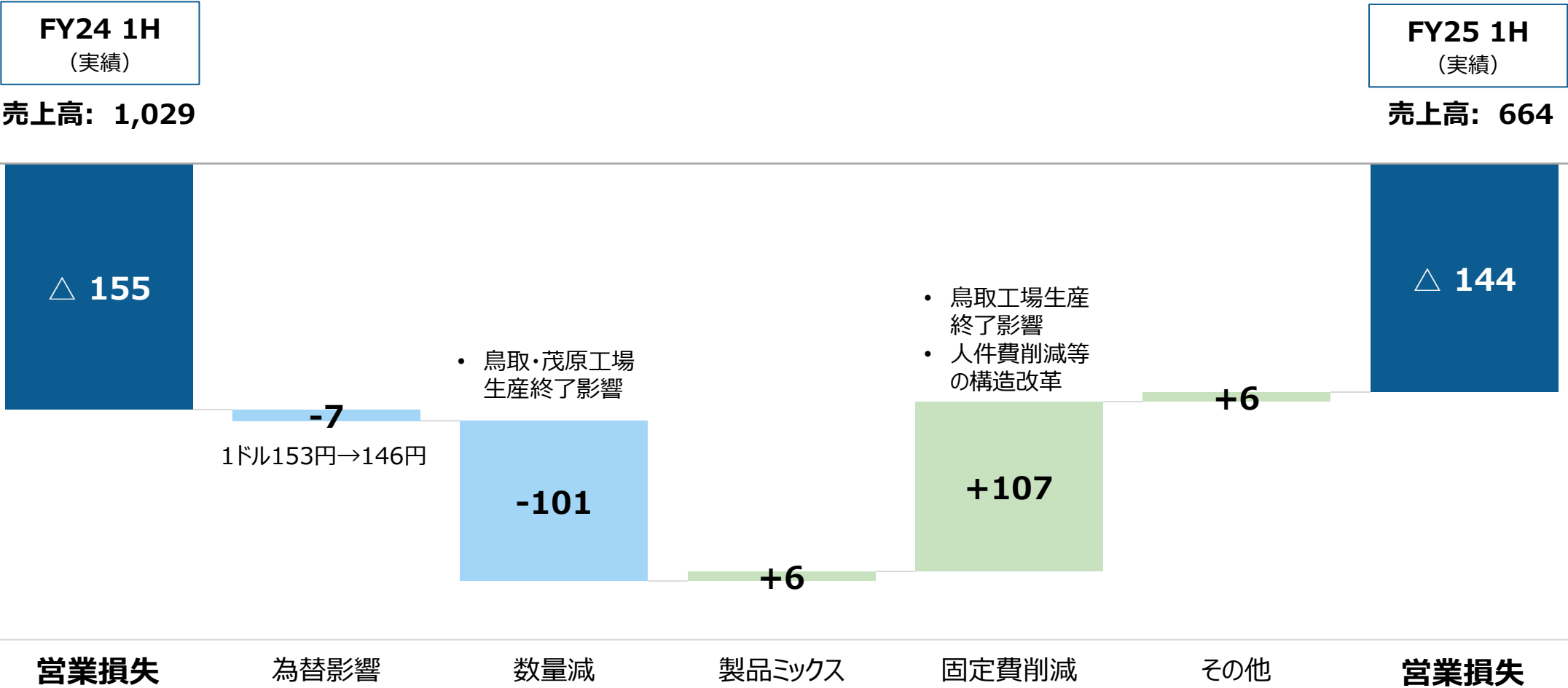
鳥取工場での生産終了及び茂原工場での生産縮小に伴う工場経費削減が進み赤字縮小

■ 四半期純利益

関係会社株式売却益（特別利益185億円）、事業構造改善費用（特別損失51億円）等を計上。黒字化

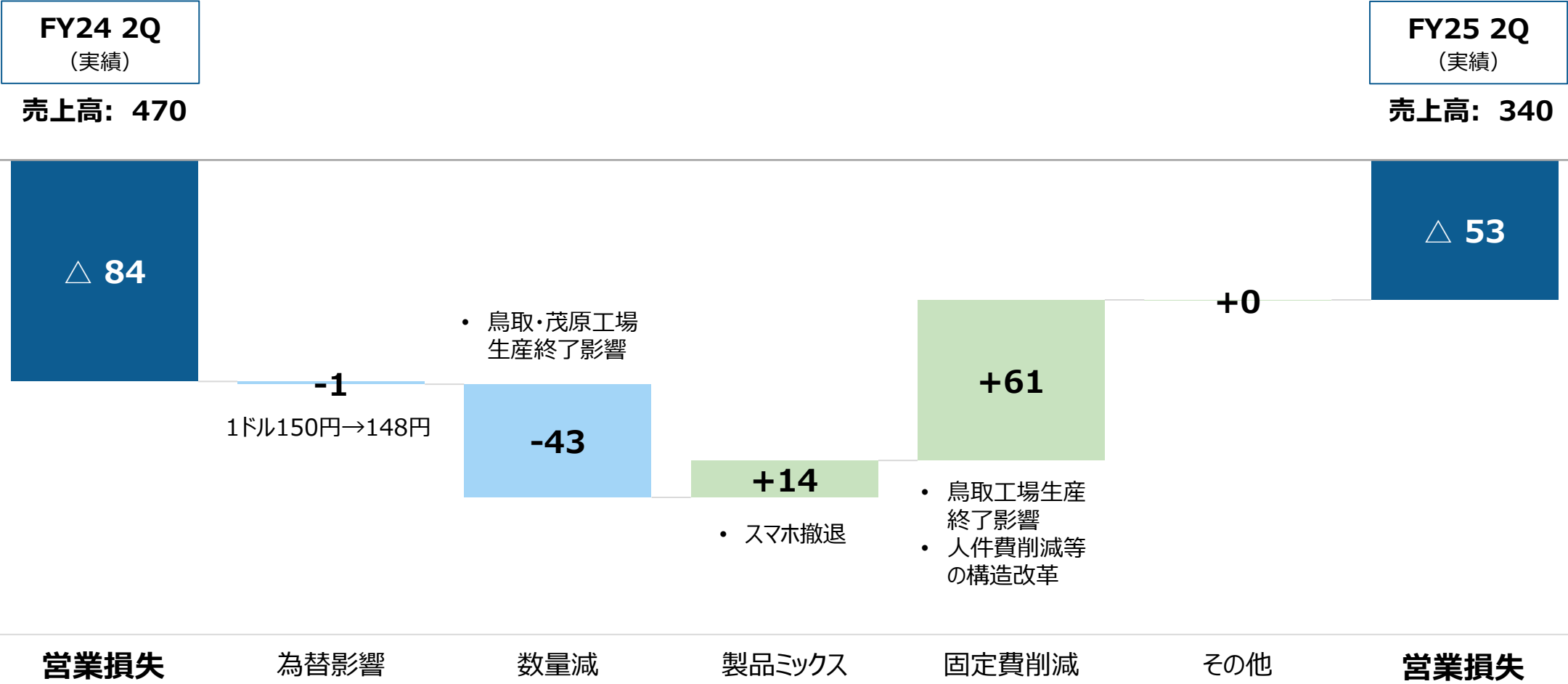
前年同期比

(億円)



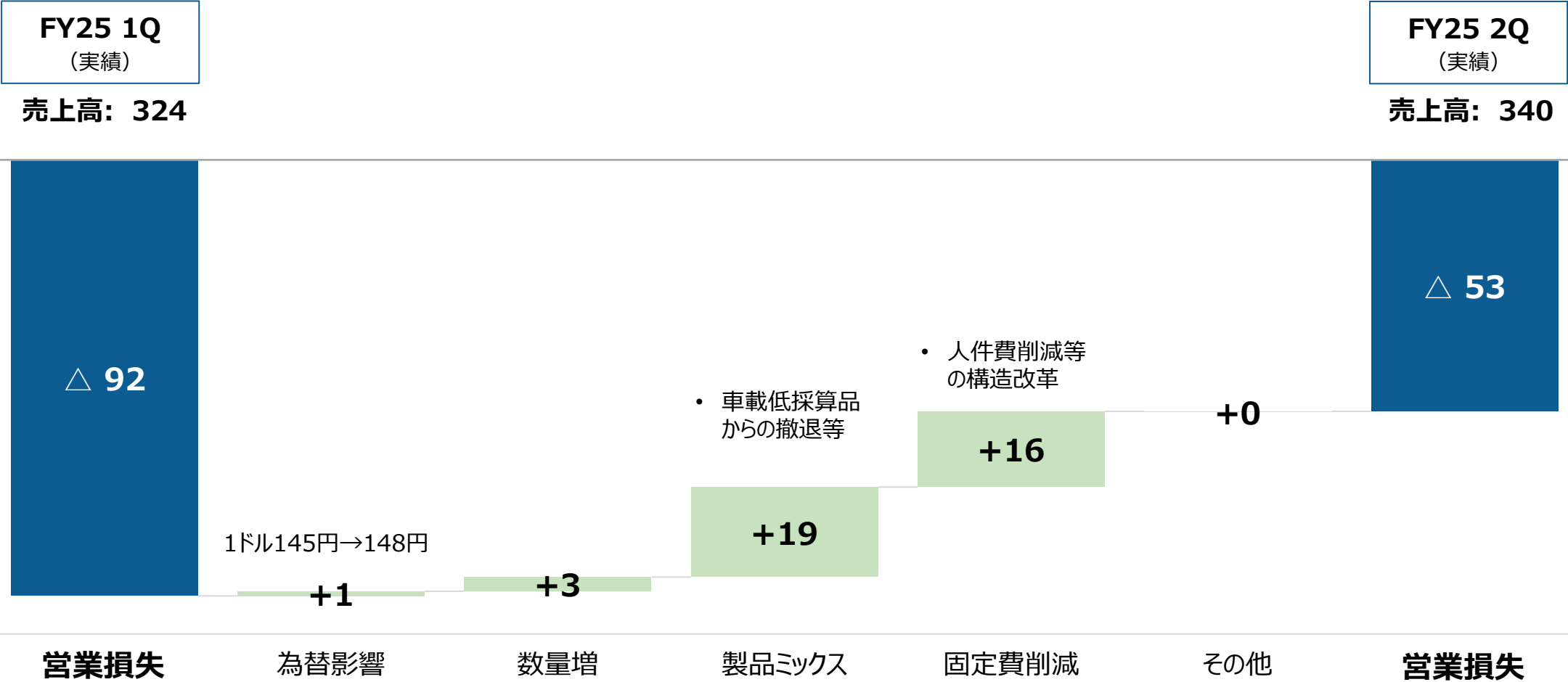
前年同期比

(億円)



前四半期比

(億円)



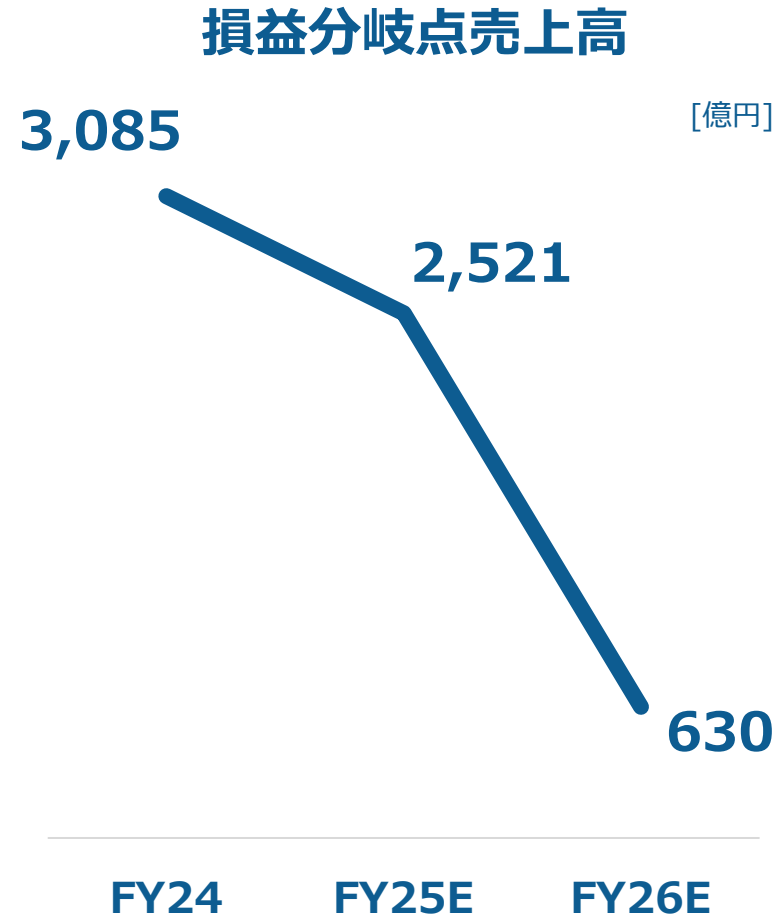
		FY24 期末	FY25 1H末	前年度末比
	(億円)			
現金及び預金		211	373	+162
売掛金		228	160	-68
在庫		441	396	-45
その他流動資産		122	120	-2
流動資産合計		1,002	1,049	+47
固定資産合計		479	446	-33
資産合計		1,480	1,494	+14
買掛金		282	250	-32
有利子負債		610	664	+54
前受金		72	116	+44
事業構造改善引当金		138	180	+42
その他負債		309	325	+15
負債合計		1,411	1,535	+124
純資産合計		69	△41	-110



Japan Display Inc.

BEYOND DISPLAY戦略の 進捗状況

コスト削減と収益向上施策の効果により損益分岐点を大幅低減し、黒字化実現を図る



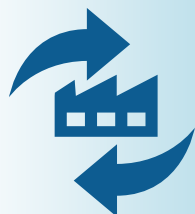
茂原工場のパネル生産終了時期を2025年11月へ前倒し 転用については、複数社から購入意向表明を受領し、条件面を精査中



顧客へのパネル供給は計画通りに実行



計画的かつ効率的に生産を行い、
生産終了時期を当初予定の2026年3月から
2025年11月へ前倒し



生産終了前倒しにより、
費用削減とAIデータセンター転用を早期に実現

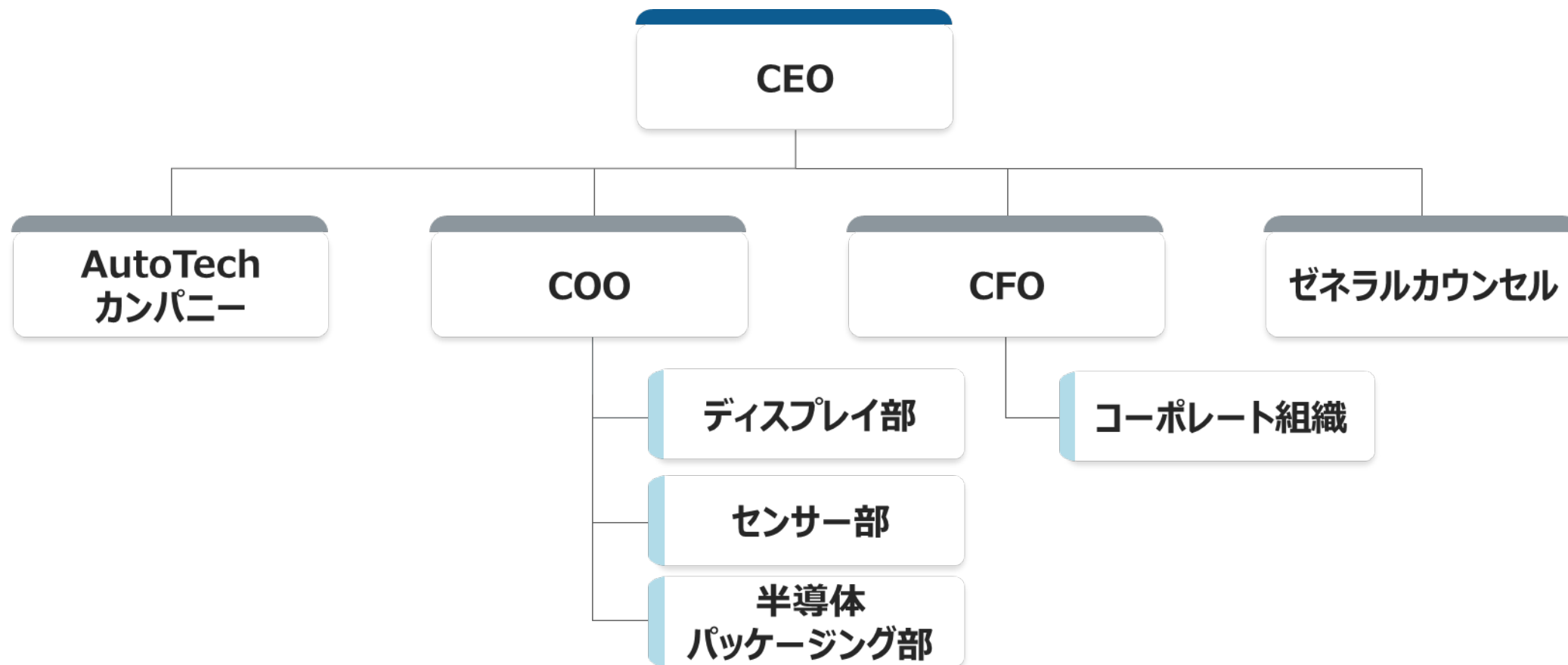
希望退職者1,500名程度の募集に対し、応募者数は国内1,483名
本人員削減により、年間約135億円の人件費の削減を見込む

人員削減の結果概要

国内における希望退職者

① 募集人数	1,500名程度（2025年3月31日現在の国内従業員数2,639名）
② 応募者数	1,483名
③ 退職日	2025年7月31日～2027年3月31日

BEYOND DISPLAY戦略推進のため、2025年10月1日付で事業体制及び執行体制を再編



産機用途ディスプレイ

- ✓ 鉄道車両向けディスプレイで欧州規格EN50155認証を取得
- ✓ テレワーク用ブース向けにカスタム製品を開発中
- ✓ 防衛用途を含む多様な領域へ拡大



Raelclear 透明インターフェイス

- ✓ CEATEC2025にて生成AIを組み合わせた製品の展示
- ✓ 大阪・関西万博のインフォメーションカウンター等で本製品を採用
- ✓ 11/15から開催される東京2025デフリンピックにて、約100台のRaelclearが設置され、ユニバーサルコミュニケーションに貢献



LEDディスプレイ用 基板ビジネス

- ✓ LEDディスプレイ用のフレキシブル回路基板を受注
- ✓ LTPS技術を活用した新製品ラインナップ増加



ZINNSIA

- ✓ 基板の小型化及びインターフェイスの拡充などラインナップ拡大
- ✓ アミューズメント、住宅設備、ロボティクス分野でサンプル評価中
- ✓ CEATEC2025にてイノベーション部門賞を受賞
- ✓ 大阪・関西万博の「体験！発見！ミライOSAKA」イベントに“しゃべる花壇”を出展

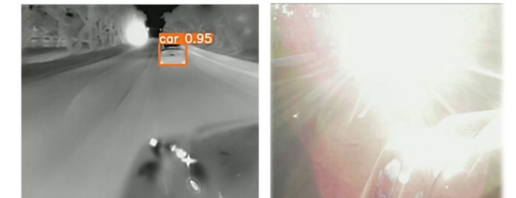


X線センサー

- ✓ 石川工場にて、高感度X線センサーを開発し顧客へサンプル出荷開始

サーマルイメージングセンサー

- ✓ Obsidian Sensors, Inc.との協業により、映像素子の大型化で安全性を向上
- ✓ 強い逆光や雨天等の過酷な条件下でも対象物を可視化し、技術革新に貢献
- ✓ サンプル提供等、開発は順調に進展し、2026年までに開発完了予定

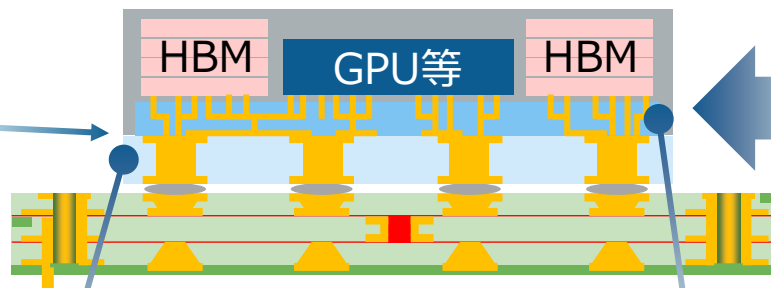
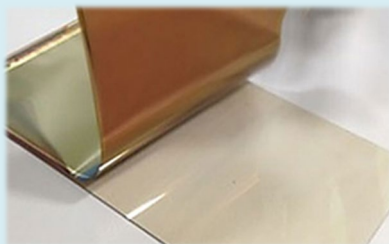


サーマルイメージング
センサーの画像

一般カメラの画像

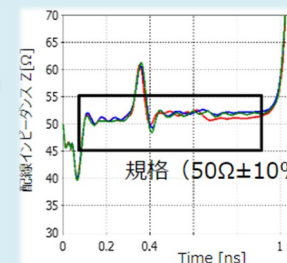
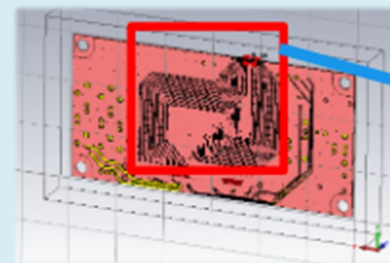
様々なコア基板への高密度配線を可能にする“ユニバーサルRDL技術”を複数顧客と開発中 半導体の高集積化に伴う消費電力増加や発熱に伴う問題解決に貢献

ガラス基板上へのポリイミドフィルム貼合と
レーザーリフトオフ技術



半導体パッケージ断面模式図

配線設計や伝送特性
シミュレーション



コア基板

- ガラス大型基板の加工技術
- セラミックにも応用可能

ガラス（石川工場）
730x920mm

ガラス
510x515mm

ウエハ
300mm

高密度配線技術

L/S=10/10μm L/S=0.9/0.9μm



従来



JDI

ユニバーサルRDL

- 無機膜と有機膜の多層化技術

〔 無機膜：コンデンサ、光導波路
有機膜：層間絶縁膜 〕



東京2025デフリンピックへの協賛

本大会にて約100台のRaelclearが設置され、
ユニバーサルコミュニケーションに貢献

JDIは11月15日から開催される東京2025デフリンピックの
トータルサポートメンバーとして、本大会を全力で応援します



サステナビリティレポート

サステナビリティレポート2025を掲載しました

以下リンクよりご覧いただけます

<https://www.j-display.com/sustainability/report/>



JDI

BEYOND DISPLAY



Japan Display Inc.

Appendix

	FY24 1H (6か月)	FY25 1H (6か月)	YoY
(億円)			
税引前中間純利益	△163	△108	+55
運転資金の増減額	28	75	+47
その他	△31	△95	-64
営業キャッシュ・フロー	△165	△128	+37
固定資産の取得による支出	△32	△2	+30
関係会社株式の売却による収入	0	200	+200
その他	54	24	-30
投資キャッシュ・フロー	22	222	+200
短期借入金の純増減額	105	55	-50
その他	△2	△1	+1
財務キャッシュ・フロー	103	54	-49
中間期末現預金残高	237	357	+120
フリー・キャッシュ・フロー	△198	△130	+68

(注) 「フリー・キャッシュ・フロー」は、「営業キャッシュ・フロー」と「固定資産の取得による支出」の合計額です。

発表日	プレスリリース
2025/11/7	<u>東京2025デフリンピック『みるTech』に透明インターフェイス『Rældclear』を展示</u>
2025/10/29	<u>GRE Alpha Electronics, Ltd.との北米市場におけるLumiFreeの販売代理店契約に関する基本合意のお知らせ</u>
2025/10/1	<u>CEATEC 2025出展のお知らせ</u>
2025/9/30	<u>2025年10月1日付の新体制について</u>
2025/9/11	<u>（開示事項の変更）会社分割による子会社「株式会社AutoTech」設立の延期のお知らせ</u>
2025/9/5	<u>希望退職者の募集結果のお知らせ</u>
2025/8/29	<u>サステナビリティレポート2025を掲載しました</u>

※ その他のプレスリリースは当社ウェブサイトのニュースページをご参照ください。 (<https://www.j-display.com/news/>)

10月開催の「CEATEC 2025」に出展した 「ZINNSIA（ジンシア）」がイノベーション部門賞を受賞



CEATEC

Society5.0の実現に向けて進化を続ける日本最大級のテクノロジー総合展

選評

- ✓ 高感度、低ノイズ、高速応答性のセンサーで、様々な素材や形状を活かしたままで操作可能
- ✓ アミューズメント分野や、自動車の内装インテリアへの埋め込み、住宅設備等、日常にあるあらゆるものがタッチパネルになる
- ✓ 新たな用途、サービスを生み出すブレイクスルーになるポテンシャルを評価



THANK YOU

将来予測及び見通しに関して

本資料に記載される業界、市場動向または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性および網羅性について保証するものではありません。

また、本資料に記載される当社グループの計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断又は考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外の個人消費その他の経済情勢、為替動向、ディスプレイを搭載する電子機器の市場動向、主要取引先の経営方針、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。